



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年8月11日

上場会社名 株式会社三洋堂ホールディングス

上場取引所 東

コード番号 3058 URL <http://www.sanyodohd.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役最高経営責任者兼最高執行役員 (氏名) 加藤 和裕

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員人事総務部長

(氏名) 伊藤 勇 TEL 052-871-3434

四半期報告書提出予定日 2020年8月11日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	5,195	9.5	166	-	182	-	172	-
2020年3月期第1四半期	4,744	△2.8	△48	-	△31	-	△50	-

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 196百万円 (-%) 2020年3月期第1四半期 △55百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	23.67	-
2020年3月期第1四半期	△6.95	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	14,946	3,332	22.3
2020年3月期	14,794	3,136	21.2

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 3,331百万円 2020年3月期 3,136百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2021年3月期	-	-	-	-	-
2021年3月期（予想）	-	0.00	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	9,200	△3.5	△50	-	△30	-	△50	-	△6.86
通期	19,000	△4.8	△110	-	△80	-	△160	-	△21.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期1Q	7,400,000株	2020年3月期	7,400,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	116,606株	2020年3月期	116,606株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期1Q	7,283,394株	2020年3月期1Q	7,283,394株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の条件に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項につきましては、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

四半期決算補足説明資料はT D n e t で同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(重要な後発事象)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大に伴い、国内外の移動や企業活動が制限され、外出自粛の動きが広がるなど社会経済活動全体が停滞しており、緊急事態宣言が解除された後も第2波の懸念があり、先行き不透明な状況が続いております。

そのため、当社グループは、新型コロナウイルス感染症拡大防止に関する政府及び自治体による各種要請に基づき、店舗の営業時間の短縮やフィットネス部門の休業等を行うとともに、お客様及び従業員の健康と安全を確保するため、マスク着用やソーシャルディスタンスの確保、レジ前のビニールシートの設置等、安全に十分に配慮しながら商品・サービスを提供してまいりました。

このような状況の中、学校の休校や外出自粛要請等により自宅で過ごす時間が増え、巣ごもり需要から書店部門やTVゲーム部門、古本部門などの需要が増加いたしました。

また、当社グループを取り巻く事業環境は、動画や音楽配信、スマートフォン等による時間消費の多様化の影響を受けております。このような経営環境のもと、当社グループは新本と古本を併売するハイブリッド型書店を核として、文具・雑貨などの販売部門を顧客のニーズの変化にあわせて展開するとともに、学びたい、健康になりたいといったニーズにあわせてフィットネス、教室等を併設した店舗を「ブックバラエティストア」として展開を進めております。

当第1四半期連結累計期間においては、大垣バロー店(岐阜県大垣市)の移転を行いました。一方で、榛原店を閉店したことから、当第1四半期連結会計期間末時点で76店舗3校となりました。また、6月に高浜Tぽーと店(愛知県高浜市)に「スポーツクラブアクトスWill_G(ウィルジー)」を導入し、フィットネス導入店舗は11店舗となりました。

オペレーション面では、前年度に引き続き物販・レンタルを同時に取扱い可能な統合セルフレジを6店舗に導入し、セルフレジ導入店舗は52店舗となりました。また、新型コロナウイルス感染症対策については、短縮営業を実施しておりました。

主要な部門の売上高は、書店部門34億12百万円、文具・雑貨・食品部門5億19百万円、セルAV部門2億11百万円、TVゲーム部門2億8百万円、古本部門1億97百万円、レンタル部門5億30百万円、新規事業部門45百万円となりました。

増収部門としては、書店部門が15.8%増、文具・雑貨・食品部門が7.1%増、TVゲーム部門が67.2%増、古本部門が25.6%増、レンタル部門が3.3%増となるなど、巣ごもり需要や好調なコミックスの影響等もあり、増収となる部門が多くございました。

減収部門としては、セルAV部門が37.7%減、新規事業部門は新型コロナウイルス感染症の影響によりフィットネス店舗の営業を自粛したことから、56.6%の減少となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高51億95百万円(前年同四半期比9.5%増)、営業利益1億66百万円(前年同四半期は営業損失48百万円)、経常利益1億82百万円(前年同四半期は経常損失31百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益1億72百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失50百万円)となりました。

なお、当第1四半期連結会計期間より、当社グループの報告セグメントを単一セグメントに変更したため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は149億46百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億51百万円増加いたしました。これは主に、商品が減少した一方で現金及び預金が増加したことにより流動資産が95百万円増加したこと、投資その他の資産の増加により固定資産が55百万円増加したことによるものであります。

負債につきましては116億13百万円となり、前連結会計年度末に比べ44百万円減少いたしました。これは主に、流動負債のその他が減少した一方で支払手形及び買掛金が増加したことから流動負債が61百万円増加し、長期借入金の返済が進んだことなどから固定負債が1億5百万円減少したことによるものであります。

純資産につきましては33億32百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億96百万円増加いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2020年5月15日の「2020年3月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,518,358	3,779,440
売掛金	287,742	217,241
商品	5,390,105	5,246,493
その他	270,717	319,736
流動資産合計	9,466,923	9,562,912
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,468,836	1,456,395
土地	2,082,910	2,082,910
その他(純額)	449,229	460,755
有形固定資産合計	4,000,976	4,000,061
無形固定資産	94,082	98,384
投資その他の資産	1,232,565	1,284,957
固定資産合計	5,327,624	5,383,403
資産合計	14,794,548	14,946,315
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,872,965	7,066,634
1年内返済予定の長期借入金	514,044	505,590
未払法人税等	12,283	30,328
賞与引当金	46,993	21,153
ポイント引当金	117,140	113,160
資産除去債務	34,271	2,000
その他	553,942	474,035
流動負債合計	8,151,640	8,212,900
固定負債		
長期借入金	2,431,842	2,307,078
退職給付に係る負債	324,660	324,665
資産除去債務	611,855	614,362
繰延税金負債	66,598	73,951
その他	71,348	80,583
固定負債合計	3,506,305	3,400,640
負債合計	11,657,945	11,613,541

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,986,000	1,986,000
資本剰余金	1,721,244	1,139,163
利益剰余金	△554,076	200,383
自己株式	△100,520	△100,520
株主資本合計	3,052,648	3,225,026
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	71,814	89,647
退職給付に係る調整累計額	12,139	16,785
その他の包括利益累計額合計	83,954	106,432
非支配株主持分	—	1,314
純資産合計	3,136,602	3,332,773
負債純資産合計	14,794,548	14,946,315

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	4,744,862	5,195,747
売上原価	3,266,910	3,567,228
売上総利益	1,477,952	1,628,518
販売費及び一般管理費	1,526,768	1,461,647
営業利益又は営業損失(△)	△48,815	166,871
営業外収益		
受取利息	822	467
受取配当金	3,538	2,292
受取保険金	1,723	772
協賛金収入	2,424	330
排出権収入	7,721	—
補助金収入	—	6,485
その他	6,130	9,040
営業外収益合計	22,361	19,387
営業外費用		
支払利息	4,724	3,849
その他	134	275
営業外費用合計	4,859	4,125
経常利益又は経常損失(△)	△31,313	182,134
特別利益		
固定資産売却益	—	22,036
特別利益合計	—	22,036
特別損失		
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△31,313	204,170
法人税、住民税及び事業税	2,994	25,649
法人税等調整額	16,367	4,828
法人税等合計	19,361	30,477
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△50,675	173,692
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△21	1,314
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△50,653	172,378

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△50,675	173,692
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,642	17,832
退職給付に係る調整額	△525	4,645
その他の包括利益合計	△5,167	22,478
四半期包括利益	△55,843	196,171
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△55,821	194,856
非支配株主に係る四半期包括利益	△21	1,314

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2020年6月23日開催の第43回定時株主総会の決議により、2020年6月23日付で、会社法第448条第1項の規定に基づき、資本準備金582,081千円を減少し、同額をその他資本剰余金に振り替え、利益準備金20,000千円を減少し、同額を繰越利益剰余金に振り替えております。また、会社法第452条の規定に基づき、その他資本剰余金582,081千円及び別途積立金700,000千円を減少し、同額を繰越利益剰余金に振り替え、欠損填補を行いました。

なお、株主資本の合計金額には、著しい変動はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積りについて)

新型コロナウイルス感染症については、感染症の広がりや収束時期の見通しが不透明な状況にあるため、不確実性が大きく将来の事業計画等に反映させることが難しい状況であります。

そのため、新型コロナウイルス感染症拡大前と同様の仮定を用いて固定資産の減損損失等の会計上の見積りを行っております。ただし、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化した場合には、将来の連結財務諸表に重要な影響を及ぼす可能性があります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。